

つながりの中で夢をもつ

校長 嶋見 靖之



11月16日早朝、大佐渡の山々は雪化粧をしました。秋が足早に過ぎていき、冬の訪れが早いのだなと感じました。

10月28日の文化祭・学習発表会ではたくさんの保護者・地域の皆様にご来校いただき、子どもたちの活躍を見ていただきました。子どもたちにとって大きな励みになりました。ありがとうございました。

11月4日に、岩谷口公民館で行われた収穫文化祭を参観しました。その文化祭で、岩谷口出身のYAMATOさんの公演がありました。ギターとハーモニカを携え、クラリネット演奏を共にした演奏でした。情熱的であり優しさを感じる歌声で、佐渡や家族のこと、人の生きる姿などをテーマにした詩を情感豊かな音楽に乗せて歌い上げていました。心に響く演奏でした。

公演中のトークやオフィシャルブログによると、YAMATOさんは小学校の先生の影響でギターを始めたそうです。そして大人になって音楽の道を志すが、一時は断念することもあったそうです。でも、夢を諦めたくない、人生を後悔したくない、そして、自分なりに故郷に恩返ししたいという強い思いに突き動かされ、プロを目指して活動を開始し、2008年にメジャーデビューをしたそうです。

ギターとの出会いがあったこと。自分とつながるふるさとや家族があったこと。そのような人や物事とのつながりが夢をもたせ、夢の実現に向かうエネルギーを生んだのでしょう。

今回の学習発表会で5・6年生は、一人一人、ふるさとを舞台にした自分の夢を語りました。そこで語られた夢は、仲間の夢と自分の夢をつなぐものでした。「僕は魚を獲る人になる。獲れた魚を販売するために宣伝してくれる人はいないかな？」と語る仲間に、「僕は芸人になって宣伝するよ。」と応えていました。そのようなつながりが5・6年生全員に続きました。

夢をもつことは、小学校段階におけるキャリア教育の目指す姿です。5・6年生が語った夢が実現することを願い、応援したいと思います。